

令和4年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月5日認定）
（最終変更令和5年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)(第3章関係)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)(第4章関係)		
1 都市計画法の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)(第6章関係)		
1 高岡御車山保存修理事業	5
2 菅笠保全対策事業	6
3 次世代型ものづくり人材育成事業	7
4 創業・事業承継支援補助事業	8
5 文化財等修理補助事業	9
6 ものづくり・デザイン科推進事業	10
7 祭行事・イベント振興事業	11
8 コミュニティ助成事業	12
9 前田利長墓所整備事業	13
10 市内町家等再生事業	14
11 金屋鋳物師町交流館整備事業	15
12 高岡城跡保存整備事業	16
13 勝興寺公開活用事業	17
14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	18
15 県道岡・笹川線道路整備事業	19
16 勝興寺寺内町道路修景整備事業	20
17 町並み保存・都市景観形成補助事業	21
18 「赤レンガ建物」利活用事業	22
19 前田家関連史跡調査事業	23
20 ミラレ金屋町開催事業	24
21 獅子舞大競演会開催事業	25
22 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	26
23 「高岡再発見」プログラム事業	27
24 新たな芸術・文化創造推進事業	28
25 日本遺産魅力発信推進事業	29
26 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業	30
28 越中国府関連遺跡調査事業	31
29 ストリート整備事業	32
30 どこでもステージ事業	33
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)(第5章関係)		
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画	34
2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画	35
3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画	36
4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画	37
5 文化財の防災に関する具体的な計画	38
6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画	39
7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画	40
8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画	41
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	42
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	43

評価軸① 組織体制		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会2回開催 【定性的評価】 協議会を通して各専門分野の方々の意見を得られたので今後も本市の歴史的風致のより一層の向上に繋がられるように努めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○高岡市歴史まちづくり協議会 ・第16回(令和5年2月15日開催予定)			
○高岡市歴史まちづくり推進会議 ・第20回(令和5年1月26日開催)			
○高岡市歴史まちづくり推進会議幹事会 ・第31回(令和4年11月14日開催) ・第32回(令和5年1月13日開催)			
		<p>第17回高岡市歴史まちづくり協議会</p> <p>第20回高岡市歴史まちづくり推進会議</p>	
歴史まちづくり計画の推進体制			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
	現在の状況	
1 都市計画法の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

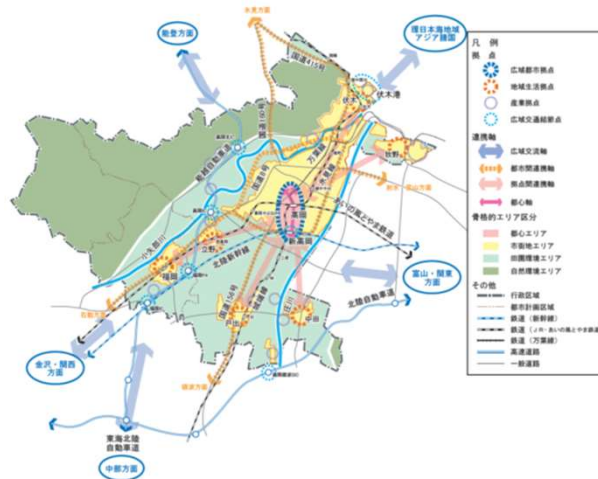
重点区域における景観計画の推進や市民意識の高揚に従い、より明確にかつ強制力のある景観形成を図る必要があると認める場合は、高度地区や景観地区等の活用も検討していく。
 重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

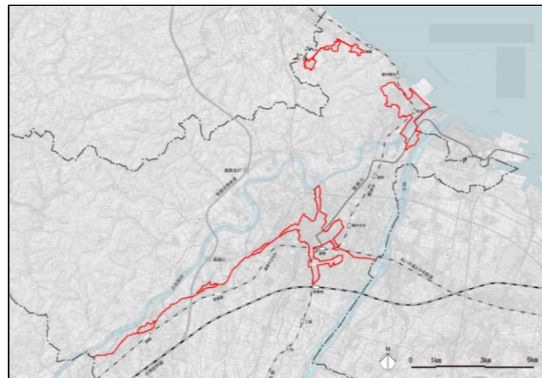
都市計画マスタープランでは都市づくりの基本方針の一つとして「歴史・文化と自然を活かした都市づくり」を掲げている。
 太田地区では、武田家住宅や国泰寺などの歴史資産を保全・活用する。「歴史まちづくり計画」において重点地区に位置付けてた伏木地区では、勝興寺などの文化財の保存修理事業、勝興寺寺内町旧参道における道路修景整備事業の推進や建築物の景観誘導への支援を進めるとともに、勝興寺風致地区の運用、景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。また、「歴史まちづくり計画」の重点区域に位置付けた、山町筋、金屋町、吉久地区瑞龍寺周辺、及び立野地区等の旧北陸道沿いにおいては、居住を維持・誘導するほか、町家や空き家・空き店舗を工房、店舗、ゲストハウスなどにリノベーションするなど、文化財の保全・活用を促進する。景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。
 都市計画マスタープランと併せて景観計画や屋外広告物の規制と連携して調和の取れた修景に取り組んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市全体の将来都市構造図



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
2 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観法に基づく届出件数
 令和2年度:41件
 令和3年度:57件
 令和4年度:45件(R5.3月末時点)

届出対象行為の拡大により、一定の届出件数がある。
 届出行為に対する景観誘導の指導・助言によって、景観計画の周知とともに、地域に合わせた周辺環境との調和が図られるなど良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

旧北陸街道福岡景観形成重点地区の修景事例



修景前



修景後

当該景観形成重点地区の景観づくりの基準に沿って、既存住宅の塀設置工事に対し助成を行った。

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。

- ・既存不適格是正実績(直近3年)
 令和2年度:30件、 令和3年度:10件、 令和4年度:10件(R5.3月末時点)

既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格広告物の是正が順調に進んでいる。是正が完了していない企業に対しては、引き続き、是正計画書を提出させる等して是正指導の強化を図りたい。

状況を示す写真や資料等

既存不適格広告物の是正事例
(屋上広告の除却)



是正前



是正後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
1 高岡御車山保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要有形民俗文化財修理・防災事業費国庫補助)

計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価:重要有形民俗文化財「高岡御車山」の修理によって地域の独自性の向上等に寄与した。

令和4年度

- ①御馬出町御車山高欄の修理…構造部材の劣化を受け、修理を行った。
- ②御馬出町御車山車輪の修理…3輪(右前輪以外)の現状確認及び修理(鉄の補強部材溶接)を行った。
- ③二番町御車山鉾留の修理…古材の状況確認を行い、決定された方針に従い施工した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【御馬出町】車輪・高欄修理



修理方針協議(車輪)



金具洗浄具合確認(高欄)



完了検査(車輪)

【二番町】鉾留修理(復元新調)



現況確認



復元新調

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
2 菅笠保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業 (H30～R5)

計画に記載している内容
 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、製作技術者や菅生産量が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。
 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績
 ・菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施)
 ・菅笠展示・実演(イベントでの周知普及の実施及び団体への支援)
 ・菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び団体への支援)
 ・菅田保全のための調査(菅田の現況把握等)
 ⇒年々減少傾向にある。データを蓄積するため、調査を継続していきたい。
 現状維持を目標としてスゲ生産組合等とも連携し対策していきたい。
 ・ブランド化等事業(新しい菅笠の提案等実施団体への支援)
 ⇒高岡民芸(株)が開発した菅笠ペーパーを周知普及事業に活用

No.	活動内容	R3		R4		実施団体
		回数	参加者数	回数	参加者数	
1	菅笠講座(笠骨)	17回	7名	20回	7名	H30～高岡市
2	菅笠講座(笠縫)	20回	6名	20回	10名	H30～高岡市
3	体験講座	4回	28名	8回	192名	H30～高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会

菅田面積の推移					単位:a
H30	R1	R2	R3	R4	
46.92	40.42	36.4	32.42	30.42	

(越中福岡の菅笠製作技術保存会調べ)

上記支援や活動によって、越中福岡の菅笠製作技術の後継者育成・周知については、今後も計画を継続すれば、一定の維持はできる見込みであるが、菅田減少による菅生産量の減少に歯止めがかかっていない状況であるので、農業団体等との連携や作業量と費用の少ない効率的な菅栽培技術の確立等が必要となる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題)⇒高齢化による技術保持者の減少(対応策)⇒後継者育成講座の充実 (課題)⇒資材高騰、高齢化による菅田の減少(対応策)⇒農業団体等との連携

状況を示す写真や資料等

後継者育成(笠縫・笠骨講座)



菅田づくり体験



菅田調査



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
3 次世代型ものづくり人材育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和43年度～基礎・研究コース、平成12年度～造形コース、平成26年度～令和2年度 3D造形コース、令和4年度～3D入門コース、平成30年度～令和3年度 精密鑄造コース

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は全9コースにおいて計41名の受講生13名の講師・助手による指導のもと技術習得に励んだ。昭和43年から実施しており、平成29年度末に50周年を迎えた。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施している。令和4年度より、一部のコースではこれまでの実技講習に加え、産地の工房、工場の見学時間を設け、技術が使われている現場を学べるカリキュラムとした。また、3Dコースは実習ソフトをRhinoceros(ライノセラス)とし、講師には富山大学芸術文化学部講師の方に依頼している。

<内容>

- 【木曜夜間 午後6～9時】
 - ・金工：彫金コース、彫金研究コース(年26回)
 - ・漆工：塗りコース、加飾コース、課題研究コース(年26回)
 - ・3D：3D入門コース(年6回 ※時間は午後7時30分～9時まで)
 - 【第2・4土曜 午後1～5時(一部午前中から実施)】
 - ・金工：鑄造コース(年15回)
 - ・漆工：高岡漆器探究コース(年13回)
- ※平成12年度から実施

<実績> 受講生 計41名：令和4年度(第28期前期)

- ・金工：彫金コース 6名 ・彫金研究コース 3名 鑄造コース 11名
- ・漆工：塗りコース 7名 ・加飾コース 2名 課題研究コース 3名 高岡漆器探究コース 3名
- ・3D：3D入門コース 6名

<成果>

- 修了生一延べ 1,174名(昭和43年～令和3年度末)
- 第27期(R2,3年度)は、修了生53名の4割程度が伝統工芸産業の従事者であり、業界の人材育成を図っている。
- 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者を多数輩出している。第一期生には人間国宝 大澤光民氏が修了している。
- 開講日以外に、講師工房を訪れたり、OB講師から指導を受けるなど更に研鑽を積む生徒もあり、講師・生徒間の交流が深まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
4 創業・事業承継支援補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	高岡市内の中小企業者の創業及び事業承継による新たな取り組みを支援し、もって本市ものづくり産業の持続的成長を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ものづくりに関連する業種で創業・事業承継する中小企業又は創業・第二創業・事業承継から3年以内の中小企業で新たな取り組みを実施する者に対して店舗等の改装費、設備費、原材料費などの費用の3分の2以内、更に市内への移住希望者、移住後1年以内の移住者、女性又は40歳未満の若手事業者については4分の3以内で補助金を交付する(いずれも上限は50万円)。令和4年度採択件数:3件
 支援を行うことで、本市のものづくり産業の継承及び成長に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該事業については今年度も、より広い範囲でものづくり分野を支援できるように対象範囲や対象経費の拡充を行った。

状況を示す写真や資料等

創業・事業承継支援補助金を活用して導入した設備の例



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
5 文化財等修理補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、事務局である(公財)高岡地域地場産業センターと連携を取りながら、高岡御車山をはじめとする文化財の保存修理を図るとともに、高岡伝統技術の次世代への継承を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施しているほか、人材育成事業(視察、研修会への参加)を行うことにより、伝統技術の承継に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理業務が多い年と少ない年がある。そのため、引き続き記録や資料を作成することによって、技術継承を可能にしていきたい。

状況を示す写真や資料等

研修会を開催



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
6 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成18年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	本市の伝統的工芸品である高岡漆器、高岡銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。高岡市立学校の小学5年生・6年生、中学1年生を対象に、小学5年生は年間20時間、小学6年生・中学1年生は年間25時間の授業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和4年度は、小学6年生、中学1年生で青貝塗りのペントレーや彫刻塗りの丸盆、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組んでいる。小学5年生は、大学、工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んでいる。
 ・高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見る、触れる、体験することにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながっている。
 ・令和4年度の事業に関するアンケート調査では、楽しんで学習をしている児童生徒が96%、教育的効果があるとする保護者が95%となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・昨年度同様、4月より実習を進める。

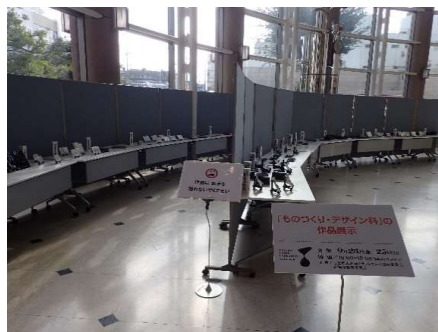
状況を示す写真や資料等



5年デザイン学習



6年鋳物実習



児童生徒の作品展示
 (令和4年度 クラフト展にて:会場 御旅屋セリオ)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
7 祭行事・イベント振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。
 ・伏木曳山祭(令和4年5月21日開催)
 ・二上射水神社築山行事(令和4年4月23日開催)
 ・八丁道おもしろ市(令和4年5月14日、10月16日開催)
 以下の祭は、雨天中止、新型コロナウイルス感染対策のため規模縮小
 ・高岡御車山祭 ※雨天中止
 ・御印祭 ※感染対策のため弥栄節の町流しを中止

高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、事業継承や担い手の育成につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



伏木曳山祭



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
8 コミュニティ助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	コミュニティ助成事業

計画に記載している内容 必要に応じて学識経験者等の助言を得ながら、地域の祭礼・年中行事などの地域文化への支援やコミュニティ活動等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域固有の祭礼・年中行事は本市の歴史的風致を構成する重要な要素のひとつである。祭道具の修理・購入等への支援を行うことで、地域祭礼行事が継承されていくとともに、本市の魅力がより一層高まると期待できることから、市内全域の歴史的風致の維持及び向上につながっている。

令和3年度助成:5団体
令和4年度助成:0団体(申請なし)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和4年度は申請なし。写真は令和3年度の実施状況。



獅子頭(購入前)



獅子頭(新調)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
9 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助)

計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業によって国指定史跡前田利長墓所の魅力向上に寄与する。

R4年9月 玉垣清掃実施
R4年9月 草刈り実施

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和4年度実施実績



墓所正面玉垣清掃作業風景



墓所内区草刈り実施風景

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
10 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町家等の文化財的価値の向上を図り、歴史的風致の維持・向上に寄与している。

H24年度 若井家住宅、高岡商工会議所伏木支所
 H25年度 佐野家住宅、丸谷家住宅主屋・土蔵
 H26年度 有藤家
 H27年度 大手町神明社拝殿 ※高岡市指定文化財
 H28年度 五福町神明社本殿 ※高岡市指定文化財
 H29年度 佐野家住宅
 令和4年度は補助実績なし

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

過去の修理実績

H24年度



高岡商工会議所伏木支所
(旧伏木銀行)

H25年度・H29年度



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)

H25年度



丸谷家住宅主屋・土蔵
(旧津野家住宅)

H26年度



有藤家住宅

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
11 金屋鑄物師町交流館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成28年度～令和13年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	金屋町において鑄物師町交流館を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、全国からの若手人材の受入、育成、定着を促進することにより地場産業の振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 整備計画の策定
 平成29～30年度 建設用地取得、設計
 令和元年度～2年度 建設工事(研修棟)※R2.9.18供用開始

研修棟利用実績

R2年度: 4件
 R3年度: 9件
 R4年度: 7件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周辺類似施設との関係性など施設のあり方の整理が課題であり、その進捗を踏まえながら整備を進めていく。

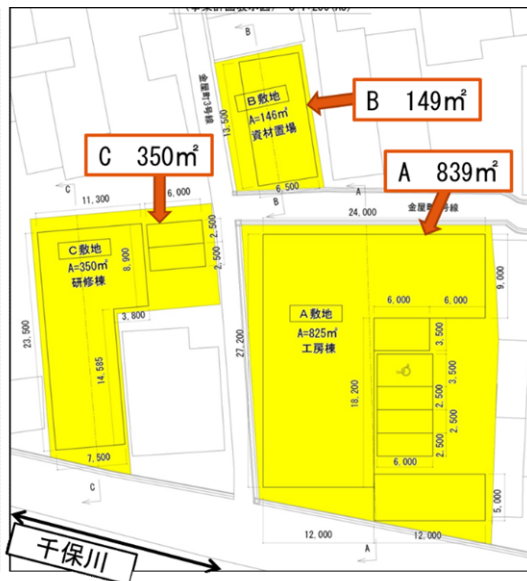
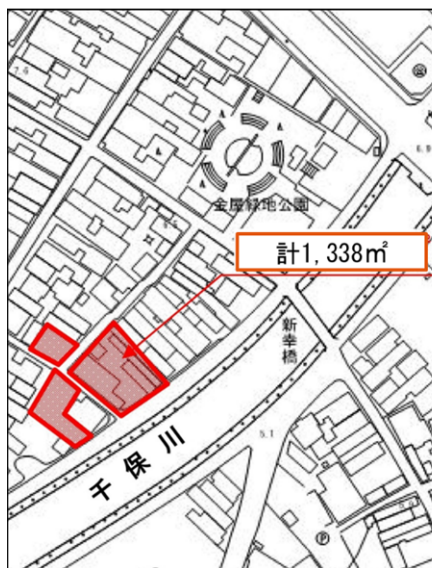
状況を示す写真や資料等



研修棟外観(下図C)



研修棟内部(下図C)



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
12 高岡城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)

計画に記載している内容 史跡の高岡城跡について、保存活用計画及び整備基本計画に基づく保存整備事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 史跡「高岡城跡」の保存整備によって景観改善等に寄与した。

令和4年度
 ①高岡古城公園樹木管理行動計画を策定。
 ②高岡城跡リーフレットを活用したイベントの実施。
 参加者数17人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

高岡城跡リーフレットを活用したイベントの様子



評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
13 勝興寺公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(観光拠点整備事業費(文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業)国庫補助) 文化財保存整備費補助金(富山県補助金)		
計画に記載している内容	重要文化財勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理が完了し、今後、富山県指定文化財勝興寺宝物修理を進めるほか、インバウンド対応等に向けた情報コンテンツ整備を図るもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 富山県指定文化財「勝興寺宝物」の修理等によって重要文化財勝興寺の魅力向上に寄与した。			
令和4年度事業内容			
①富山県指定文化財「勝興寺宝物」修理事業 ②勝興寺宝物展開催事業費補助 ③GO FOR KOGEI開催事業費補助 ④勝興寺関連地域資料調査・報告会開催事業費補助			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
勝興寺宝物展「勝興寺奥のしつらい展」		「GO FOR KOGEI展」	
			
地域資料調査・報告会			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成13年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要伝統的建造物群保存地区保存等事業費国庫補助)

計画に記載している内容 山町筋伝統的建造物群保存地区及び金屋町伝統的建造物群保存地区、吉久伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価:重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景によって歴史的な町並みの保全に寄与した。

令和4年度

- ①【山町筋地区】中条家住宅主屋修理工事(M-0025)
- ②【金屋町地区】升方家住宅主屋修理工事(K-0097)
- ③【金屋町地区】宗泉寺裏門修理工事(K-0037)
- ④【吉久地区】有藤家住宅納屋修理工事(Y-0022)
- ⑤【吉久地区】デイサービスむら花修景工事

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



①【山町筋地区】中条家住宅工事着手前



①【山町筋地区】中条家住宅工事完了後



⑤【吉久地区】デイサービスむら花工事着手前



⑤【吉久地区】デイサービスむら花工事完了後

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
15 県道岡・笹川線道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～令和12年度
支援事業名	都市構造再編集中支援事業補助、県単独事業、市単独事業

計画に記載している内容 県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・関係機関との協議・調整を行いながら、全長880mの修景整備を実施するものである。

・定性的評価(実施内容)

平成29年度 測量設計業務委託を実施

平成30年度 関係機関との協議・調整を実施

令和元年度 市:電柱の修景化を実施(6箇所)
 県:側溝改修工事(100m)と消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(110m)を実施

令和2年度 市:電柱(8箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(331m)を実施
 側溝改修工事(150m)を実施

令和3年度 市:電柱(2箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(150m)と舗装工事(250m)を実施

令和4年度 市:電柱(4箇所)と照明施設(3箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(298m)と側溝改修工事(83m)を実施

・当該事業によって、道路景観の改善が図られるとともに、歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間の創出にもつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

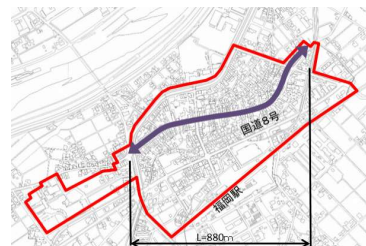
状況を示す写真や資料等



旧北陸街道福岡地区の町並み



工事後(電柱、側溝、消雪管、舗装)の状況



事業箇所図

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
16 勝興寺寺内町道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金

計画に記載している内容	伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を行う。
-------------	------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

《平成29年度》
 基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。
 ・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催)
 《平成30年度》
 実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。
 《令和元年度》
 ・修景整備内容について住民説明会を開催(令和元年7月18日開催)
 ・電柱移設(カラーポール化)5本 ・照明設置(電柱共架)5基
 ・第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン方針決定 — 令和元年8月28日開催)
 ・第2回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン決定 — 令和2年1月30日開催)
 《令和2年度》
 ・電柱移設(カラーポール化)3本・照明設置(電柱共架)5基
 ・デザインマンホール蓋設置10箇所
 《令和3年度》
 ・側溝整備
 《令和4年度》
 ・側溝整備
 事業の実施により道路景観の改善及び歩行空間の創出が図られた。
 事業を継続しており、道路景観の改善及び歩行空間の創出を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
17 町並み保存・都市景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。
 令和元年度:修景補助3件 令和2年度:修景補助0件
 令和3年度:修景補助0件 令和4年度:修景補助2件
 県道岡・笹川線の道路修景整備が進められており、沿線住民の景観づくりへの機運の高まりによって修景補助の実績につながった。互いの取り組みにより、良好な景観形成が図られている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

旧北陸街道福岡景観形成重点地区の修景事例



修景前



修景後

当該景観形成重点地区の景観づくりの基準に沿って、既存住宅の塀設置工事に対し助成を行った。

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
18 「赤レンガ建物」利活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和12年度
支援事業名	
計画に記載している内容	山町筋重要伝統的建造物群保存地区にある旧高岡共立銀行について、伝統的建造物として調査等を行い、保存及び活用を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年3月 保存活用計画策定
 令和4年8月 赤レンガの建物に係る官民連携手法導入可能性調査実施(令和5年3月まで)
 赤レンガの建物一般公開
 令和4年9月 赤レンガの建物一般公開
 一般公開には多くの方が訪れ、歴史遺産である建物の文化財的価値及び高岡の歴史・文化を広く周知する機会となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度に策定した保存活用計画を基本として、令和4年度は官民連携手法導入可能性調査を実施し、効果的な活用方法の整理を行った。

状況を示す写真や資料等

【赤レンガの建物外観】



【赤レンガの建物内観】



令和4年8月6日 一般公開時の様子



【一般公開日時及び参加人数】

日時	参加人数	備考
8/6 13:00～17:00	約 250 名	
9/24 10:00～12:00 13:00～17:00	約 80 名	1 回 10 名とし、計8回開催

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
19 前田家関連史跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)

計画に記載している内容	守山城跡の史跡範囲の確認等を目的とした詳細調査を実施する。
-------------	-------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 守山城跡の調査によって地域資源の発見に寄与した。

- 令和4年度
 ①史料調査
 ②縄張調査

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

縄張調査の様子



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
20 ミラレ金屋町開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～(ミラレ金屋町開催事業)
支援事業名	市補助事業
計画に記載している内容	高岡鋳物発祥の地であり、伝統的な家並みが残る金屋町において、産官学が連携し、金屋町の魅力発信、移住・定住促進事業と、伝統文化やものづくり体験等を組み合わせた「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、コロナ禍の影響から、3年ぶりのイベント開催となった。
 来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町民文化」の魅力を広く発信した。また、工芸都市高岡クラフトコンペティション、高岡クラフト市場街などと連携を図り、同時期に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しみ機会を提供した。

- ・開催日 令和4年9月23日～24日
- ・来場者数 14,600人
- ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売
 鋳物、ガラス等のワークショップ
 ガイドツアー、クイズ・スタンプラリー
 着物ファッションショー 他

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 事業実施にあたってはコロナ禍における、参加者を含めた安全性を考慮した開催時期、内容を引き続き検討していきたい。

状況を示す写真や資料等

秋の3大クラフト祭り!
 町中散策しながらものづくりに出会おう!
 「工芸都市 高岡の秋」が2年ぶりに再開だ!
 街中の会場約90箇所、約2,000点のクラフト作品が一堂集結。ものづくりのまち高岡を舞台に、昼も夜も盛り上がり満載! 街を散策するもよし、お気に入りの一品を探すもよし。クラフトを自由に楽しむ3日間の祭りだ!

23日(金) 24日(土) 25日(日)

2022 クラフト展
 全国の作家の技の粋を集めたクラフトを一堂に集結! (約1,000点の作家の作品の展示)

市場街2022
 クラフトも観る、クラフトも買う、クラフトを体験する。クラフトの街で遊ぶ!

ミラレ金屋町
 手紙箱子の町家が輝く街を巡る鋳物発祥の地「金屋町」の魅力を堪能してクラフト!

TAKAOKA 工芸都市 高岡の秋. 2022
 9月23日(金)・25日(日)

約200名の作家、約90会場、約2,000点の作品が一堂に!

開催場所: 高岡中心市街地一帯

約200名の作家、約90会場、約2,000点の作品が一堂に!

工芸都市高岡の2022クラフト展、市場街、ミラレ金屋町、ものづくりのまち高岡のすべて、ほぼ全部。

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
21 獅子舞大競演会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 令和4年で47回の開催を迎えた獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心市街地を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらう機会をつくることで継承につながった。
 なお、今年度は新型コロナウイルスの感染流行を鑑み、開催時期を例年の5月から10月へ変更し、4つの獅子舞団体を市内外から招いて開催した。(来場者数)5,000人
 今後のコロナ禍においてもイベントをより良いものにできるよう検討してまいりたい。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施にあたってはコロナ禍における、参加者を含めた安全性を考慮した開催時期、内容を引き続き検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



法土寺町獅子舞保存会の演舞



三ヶ錦町獅子舞保存会の演舞



戸出狼獅子方若連中の演舞



庄東青年団獅子方若連中の演舞

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
22 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 土蔵造りの伝渡欧的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。

- 令和4年度は以下のイベントを行った。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(令和4年8月6日開催)
 土蔵造りの建物のライトアップとクラシックカー展示、マルシェの開催など
 ②山町筋の天神様祭(令和5年1月21日、22日開催)
 山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など
 ③山町筋のひなまつり(令和5年3月11日、12日開催)
 山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施にあたってはコロナ禍における、参加者を含めた安全性を考慮した開催時期、内容を引き続き検討していきたい。

状況を示す写真や資料等

山町筋土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
23 「高岡再発見」プログラム事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和4年度
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和4年度は、1、2年生は16%、3、4年生は14%の達成率となっており、前年度の数値とあまり変わらない。
 ・スタンプポイントである各施設の来館者数が徐々に回復しており、親子で市の歴史関係施設等に足を運び、たかおかの歴史文化への関心を高めている。(入館者数 万葉歴史館…R3:9,016人、R4:10,876人、博物館…R3:30,726人、R4:41,113人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー配布用カード



スタンプラリー実施要項

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
25 日本遺産魅力発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 本市の日本遺産のストーリー(「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-」及び「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」)を通して、歴史的的魅力に溢れた文化財群の国内外に向けた普及啓発や情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化庁の日本遺産総括評価において高岡市が重点支援地域の選定を受けた。策定した「日本遺産を通じた地域活性化計画」(R3～5年度)に沿って事業を進めていく。特に、北部エリアの文化財の魅力発信に注力する。

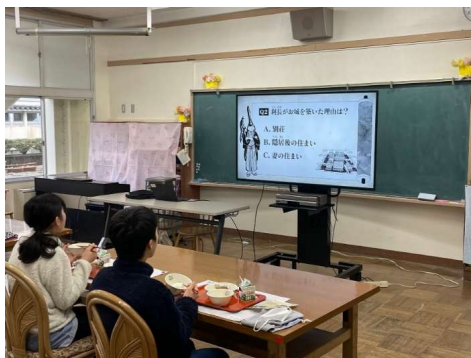
【実施内容】

- ・日本遺産ストーリーを紹介するアニメーションを制作した。
- ・ツーリズムEXPOジャパン2022に出展してPRを実施した。
- ・日本遺産フェスティバルin関門(10月)でPRブースを設置し、錫のアクセサリーづくり体験によるPRを実施した。
- ・伏木地区の魅力を発信するためのAR動画、マップを制作した。
- ・日本遺産の日(2月13日)に合わせて市内小中学校の給食で高岡のストーリーにちなんだメニューを提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



日本遺産給食+日本遺産アニメーション制作



伏木ARマップ



日本遺産フェスティバルin関門



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
26 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	ユネスコの無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小・中・義務教育・特別支援学校の児童生徒が、俳句、短歌を作成する活動を通じ、高岡の歴史文化の魅力を再発見し、豊かな感性と郷土愛を育むことにつながった。
 【定量的評価】校内選考を通過した優秀作品数として、俳句の応募件数:212点(前年度比:-13) 短歌の応募件数:96点(前年度比:-6) 表彰数は、最優秀賞:各1点、優秀賞:各2点、佳作:各6点

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和4年度「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する応募作品 審査結果(入賞作品)

部門	学校名	学年	氏名	作品	結果
俳句	横田小	6	小玉 龍心	石だたみ 風鈴の音と 散歩する	最優秀賞
	西条小	4	中村 悠希	雨もよう 来年こそはと 蔵の山車	優秀賞
	二塚小	5	大坪 龍世	大ぶつが 見ているさきに こいのぼり	優秀賞
	成美小	5	高野 敬	霜おりる 万葉かるた 読む朝に	佳作
	博労小	5	吉田 茉央	初夏の山車 せいぞろいして シャッター音	佳作
	下関小	6	能作 哲	電線の ツバメの視線は 黒い山車	佳作
	西条小	5	早川 すず花	よいの山 風にふかれて ちょうがまう	佳作
	伏木小	4	鶴谷 鼓音	すさまじい 顔の父さん けんか山	佳作
	能町小	4	上田 真夢	大仏も 目を細め見る 新入生	佳作
短歌	芳野中	1	藤重 いのり	うっそうと 草木のしげる 公墓所に ひびけ我らの 青春の歌	最優秀賞
	高岡西部中	3	神初 なつみ	古き良き 千本格子の この町で 鋳物師の心 受け継ぐ 私	優秀賞
	五位中	3	吉田 秀太郎	銅の街 静かに見守る 大仏の 緑青の色 歴史あらわす	優秀賞
	高陵中	2	江畑 小夏	十三歳 カ一杯 引いては押し やっと鳴らせた 二上の鐘	佳作
	志貴野中	3	金田 拓己	幼な子が 山車を見るなり 背比べ 負けじと背伸び かわいい姿	佳作
	牧野中	3	ファティマ ファリハ	見上げれば 天にも届く 大仏に 背伸びしてみた 初詣の朝	佳作
	五位中	2	河村 朋花	我がまちを 眼下に臨む 神の山 古今をつなぐ うぐいすの声	佳作
	福岡中	3	大菅 幸夏	朝日浴び 黄金に輝く 雨晴 水面にできる 天までの道	佳作
	福岡中	2	宮崎 友里愛	雨が降る 参道の隅 たおやかに 生きると咲くか かたかごの花	佳作



評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
28 越中国府関連遺跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)

計画に記載している内容	越中国府関連遺跡における、古代・中世から近世に至るまでの重層する歴史の調査・研究を進める。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 越中国府関連遺跡における調査・研究によって本市の歴史的風致の維持及び向上に寄与した。

令和4年度

- ①個人住宅等の開発における越中国府関連遺跡の試掘調査を行った。
- ②幅広い世代に分かりやすい越中国府・国分寺跡の冊子を作成する。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



試掘調査の様子



越中国府・国分寺跡冊子



越中国府・国分寺跡冊子

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
29 ストリート整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 たかおかストリート構想及び伏木地区ストリート構想で位置付けられているゾーンやルートを対象に、最新技術等を用いて、その地域の歴史や文化を体感できるような取組を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伏木地区でARを用いて歴史的名所を歩いて回る企画に取り組んだことにより、伏木地区の歴史的な魅力を体感できるとともに回遊性の向上につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

動画で見よう! けんか山

下記の📍のマークが付いた📷内の写真をARアプリでスキャン!
各町の美しい花傘を上げた「花山車」が動き出します!!

動画視聴の「かんたん2STEP」

STEP 1 下記のQRコードからARアプリをダウンロード!

STEP 2 アプリ「COCOAR」を起動し📷マークの写真を読み取る!

高岡市景観みどり課 | 〒933-8601 富山県高岡市広小路7-50 TEL. (0766) 20-1407 FAX. (0766) 20-1655

けんか山 見どころAR MAP

AR動画を観られるよ!

写真をスキャンしてみよう!

けんか山 デイジエムービー

かっちゃん 花傘はな

かっちゃん 花傘はな

けんか山 見どころAR MAP

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
30 どこでもステージ事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和7年度
支援事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

計画に記載している内容 市内の名勝、寺社、町並みなどの歴史・文化資産をステージに、市内アーティストによる伝統芸能や音楽、ダンスなどのパフォーマンス動画を制作。その動画のオンライン配信により、歴史都市・文化創造都市の魅力を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物や町並みを活用した文化・芸術のパフォーマンス映像の制作と動画サイトにおける発信により、本市の歴史的資産の新たな魅力を国内外に対して行っている。本事業により、「歴史都市高岡」の認知度がさらに向上し、市域全体の歴史的風致の維持及び向上に寄与している。

令和3年度

・3種類6本の動画を作成(1種類につき、約30分の本編及び約3分のダイジェスト版の2本作成)

《動画の内容》

- ①勝興寺での洋舞と箏曲の共演
- ②金屋町での民踊と民謡の共演
- ③瑞龍寺・雨晴海岸での日舞

総再生回数 7,965回(令和5年3月31日現在)
(うち令和4年度中の再生回数 3,358回)

令和4年度

・2種類4本の動画を作成(1種類につき、約30分の本編及び約3分のダイジェスト版の2本作成)

《動画の内容》

- ①山町筋(土蔵造りの町並み)での合唱
- ②二上山での尺八と華道の共演

総再生回数 2,415回(令和5年3月31日現在)

全作品の総再生回数 10,380回(令和5年3月31日現在)
(うち令和4年度中の再生回数 5,773回)

《公開・配信サイト》

YouTube文化創造都市高岡公式チャンネル

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



山町筋(土蔵造りの町並み)での合唱



二上山での尺八・華道



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 保存や活用に関する具体的な整備に実施については、専門家や関係機関に意見を聞きながら計画的に進めていくものとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存や活用に関する具体的な整備や実施にあたっては専門家や関係機関と緊密に連携しながらの取組を進めている。重要有形民俗文化財高岡御車山の修理にあたって、祭礼行事で使用する用具としての側面だけではなく、高岡の技術の粋を結集した美術工芸品的側面についてどのように修理方針を決定・管理するかについての専門家の意見を伺いながら総合的に判断している。また、重要伝統的建造物群保存地区保存修理にあたっては文化庁・富山県と緊密に連携しながらの修理・修景方針を決定するとともに専門家の意見を伺いながら実施するなど、事業実施を通してノウハウの蓄積に努めている。また、民間事業者等との協定の締結により、地域に眠っている解読されていない資料の調査・収集・研究に取り組んでいくこととしている。

なお、令和4年度の事業内容は以下のとおり。

- ・高岡御車山保存修理事業(P5参照)
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P7参照)
- ・文化財等修理補助事業(P9参照)
- ・コミュニティ助成事業(P12参照)
- ・金屋鋳物師町交流館整備事業(P15参照)
- ・勝興寺公開活用事業(P17参照)
- ・「赤レンガ建物」利活用事業(P22参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P25参照)
- ・菅笠保全対策事業(P6参照)
- ・創業・事業承継支援補助事業(P8参照)
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P10参照)
- ・前田利長墓所整備事業(P13参照)
- ・高岡城跡保存整備事業(P16参照)
- ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P18参照)
- ・前田家関連史跡調査事業(P23参照)
- ・越中国府関連遺跡調査事業(P31参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高岡御車山保存修理事業



菅笠保全対策事業



次世代型ものづくり人材育成事業



文化財等修理補助事業

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和4年度
2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 登録有形文化財(建造物)及び未指定建造物のうち歴史的風致の維持に資するものである場合、歴史的風致形成建造物に指定したうえ、保存修理や美装化等に要する費用に対する各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定は令和4年度時点で9件あり、必要な修理(整備)を施し、歴史的風致の維持に寄与している。
 ・市内町家等再生事業(P14参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



五福町神明社本殿



大手町神明社拝殿



旧秋元家住宅



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)



若井家住宅主屋(旧中越銀行)



高岡商工会議所伏木支所(旧伏木銀行)



有藤家住宅



旧伏木測候所



丸谷家住宅主屋・土蔵(旧津野家住宅)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
----	-------

3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した施設に対し、公開活用を図るとともに、ガイダンス等の情報発信の機会を提供するよう取組を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定にあたっては10年以上公開(外観:常時/内部:随時)することを条件としており、令和4年度時点では、9件が指定されている。
 なお、公共施設の歴史的風致形成建造物(旧秋元家住宅・旧伏木測候所)についてはガイダンス機能を有して情報発信に努めている。ストリート整備事業において、伏木気象資料館・伏木北前船資料館では、単なる解説だけでなく現地のGPSと連動したまちあるきによって波及的に興味・関心を高める工夫をこらしている。また、歴史的風致形成建造物に指定している佐野家住宅は現在レストランとして活用されている。
 令和4年度は以下の事業をおとして、歴史的風致形成建造物の公開・活用に努めている。
 ・「高岡再発見」プログラム事業(P27参照)
 ・ストリート整備事業(P32参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「高岡再発見」プログラム事業



ストリート整備事業

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- ・景観法、都市計画法及び市条例等と連動し、良好な景観の形成に努める。
- ・「たかおかストリート構想」と「伏木地区ストリート構想」を策定しており、今後も取組を進めていく。
- ・高岡市新サイン計画に基づき必要に応じて整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財をとりまく周辺環境の保全は、該当の文化財の価値や魅力に影響する重要な要素であり、景観法・都市計画法及び市条例に基づき屋外広告物の適正化や伝統的な形式を持つ建造物等の規制・誘導による保全を図るとともに、道路の美化や街路灯の整備といった周辺環境の整備を推進している。県道岡・笹川線道路整備事業では、県と協働で旧北陸街道沿いの町並みにあうよう電柱と照明施設の修景化や側溝改修、消雪配管リフレッシュ工事を進めている。勝興寺寺内町道路修景整備事業では、旧参道を中心とした道路修景事業として、電柱移設(カラーポール化)、町並みにあった照明設置、デザインマンホール蓋設置、側溝整備を行い重要文化財勝興寺のある寺内町の良好な景観の形成を図った。

令和4年度は、以下の事業を実施し、良好な景観の形成に寄与した。

- ・県道岡笹川線道路整備事業(P19参照)
- ・勝興寺寺内町道路修景整備事業(P20参照)
- ・町並み保存・都市景観形成補助事業(P21参照)
- ・ストリート整備事業(P32参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



県道岡・笹川線道路整備事業



勝興寺寺内町道路修景整備事業

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度 令和4年度

項目 現在の状況

5 文化財の防災に関する具体的な計画

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財の現状に鑑み、その文化財の性質に応じた防災に関する事項を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

災害による文化財の損失に対して、訓練のみならず防災対策の徹底に努めることが被害を生み出さないこと及び被害を最小限に抑えることにつながるものであるという意識のもと、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めている。毎年1月26日の文化財防火デーを中心として本市においても各建造物等を対象として防災訓練を実施している。

令和4年度は以下の事業の実施を通して、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めており、広く防災意識の高揚に寄与した。

【第5章関係】

- ・瑞龍寺仏殿ほか2棟に係る防災施設の改修及び強化(令和3年度から令和4年度)
- ・文化財防火デー特別消防訓練の実施(令和5年1月)

実施文化財等

- 国宝 瑞龍寺(1/10)、勝興寺(1/12)
- 重要文化財 氣多神社(1/17)、武田家住宅(1/17)、佐伯家住宅(1/17)
- 市指定文化財 戸出御旅屋の門(1/20)
- 重要伝統的建造物群保存地区 3地区(山町筋(1/28)、金屋町(1/29)、吉久(1/22))

【第6章関係】

- ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P18参照)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



吉久



勝興寺



戸出御旅屋の門



瑞龍寺

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の保存を前提とし生きた歴史を体験できるプログラムの構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の公開・活用のみならず、文化財の公開による普及・啓発にあたっては、本市固有の祭礼行事などの機会に合わせた情報発信の充実に努めている。学校における郷土学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境・文化財・景観等について幅広い視点で学ぶ機会の創出に努めているとともに、あらゆる世代の市民に対し、祭礼行事等への参加機会の提供に努め、まちの関心や愛着を豊かに育んでいくことを目指している。

令和4年度は以下の事業を通して文化財に関する様々なテーマを生涯学習の場で市民が気軽に学べる機会の提供に寄与している。令和4年5月に行われた高岡御車山祭及び伏木けんか山祭では、地元ケーブルテレビでの中継のほかインターネット動画サイト、YouTubeでの公開を通して幅広い世代の市民に向けた視聴を促した。また、小・中学生の学習用端末での利用を呼び掛けるなど、コロナ禍における祭礼行事の取組みとしても新しい試みとなった。このほか、「高岡再発見」プログラムでは、日本遺産のストーリーと合わせたことにより、歴史的建造物等を巡るスタンプラリーに厚みをもたせた工夫をしている。

- ・祭行事・イベント振興事業(P11参照)
- ・ミラレ金屋町開催事業(P24参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P25参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P26参照)
- ・「高岡再発見」プログラム事業(P27参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P28参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P29参照)
- ・「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業(P30参照)
- ・ストリート整備事業(P32参照)

R5年度に補助金を活用した事業を実施予定
R4年度は、補助金の説明会を開催

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



祭行事・イベント振興事業



日本遺産魅力発信推進事業

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地内における発掘調査の記録を報告書として刊行し、記録保存を行うとともに、調査成果や出土品等を高岡市埋蔵文化財センターで公開する。

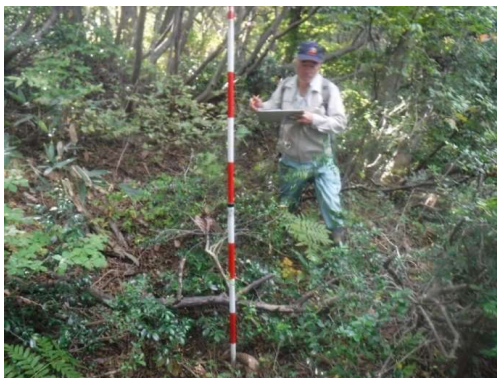
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は埋蔵文化財の取扱いに関して以下の事業を実施している。調査成果を報告書として刊行・記録保存するとともに高岡市埋蔵文化財センター常設展「発掘された高岡」で公開・活用に使っている。また、万葉歴史館の万葉学習エリアに越中国府関連遺跡出土品等の展示コーナーを設けこれまでの発掘調査の成果を展示している。

- ・前田利長墓所整備事業(P13参照)
- ・高岡城跡保存整備事業(P16参照)
- ・前田家関連史跡調査事業(P23参照)
- ・越中国府関連遺跡調査事業(P31参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



前田家関連史跡調査事業



越中国府関連遺跡調査事業

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 ・市民有志や文化財の保存団体による、文化財の保存活用に関わる取組を支援する。
 ・市民や専門家、行政の協働による検討の場が設置されることが望ましい。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

官民が連携した文化財の保存・活用において、特に未指定文化財については、市民の意見や発想のもと、市民が主体となってその保存と管理にあたっていくことが望ましく、市域全体に広がりを見せる関連文化財群の特性を踏まえ、その仕組みづくりのための支援充実を図っている。重伝建地区に選定されている吉久地区ではNPO法人主催のもとワークショップが行われ地域住民主体の保存・活用に関する意識の醸成が図られている。

令和4年度は以下の事業を実施し、市民有志や文化財の団体による、文化財の保存・活用に関わる取組み支援の充実を図った。

- ・ミラレ金屋町開催事業(P24参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P25参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P26参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P28参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P29参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ミラレ金屋町開催事業



獅子舞大競演会開催事業

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和4年度
奉幣使行列 華やか 30年ぶり「出立の儀」	R4.4.19	富山新聞
豊穰願い、築山行事	R4.4.25	富山新聞
無念の雨 勢揃い中止 高岡御車山祭	R4.5.2	富山新聞
3年ぶり八丁道おもしろ市	R4.5.15	富山新聞
「改革元年」継承へ気概 伏木曳山祭	R4.5.22	富山新聞
全7町の囃子 映像記録 高岡御車山保存会	R4.6.20	富山新聞
大正期の風格 内装に感嘆 高岡「赤レンガの銀行」初公開に250人	R4.8.7	富山新聞
サントリー地域文化賞 高岡鑄物の文化守る	R4.8.31	北日本新聞
利長公に地域の繁栄誓う 高岡・墓所前で顕彰祭	R4.9.14	富山新聞
街巡り 高岡の工芸満喫	R4.9.24	富山新聞
ふるこはん 地域の宝 勝興寺 国宝答申	R4.10.13	北日本新聞
高岡歓喜「悲願かなった」 勝興寺国宝に	R4.10.13	富山新聞
国宝勝興寺に喜びの声	R4.10.13	読売新聞
「国宝効果」参拝者5.4倍 高岡・勝興寺1カ月で1万4391人	R4.11.13	富山新聞
重伝建地区 ランプで灯そう 高岡吉久	R4.11.13	北日本新聞
楽な姿勢で菅笠作り	R4.11.17	北日本新聞
勝興寺 国宝指定決定	R4.12.13	北日本新聞
勝興寺 国宝に決定	R4.12.13	富山新聞
勝興寺2例目国宝指定 本堂と大広間及び式台	R4.12.13	読売新聞
国宝勝興寺 25年ぶり御示談盛況	R5.1.16	富山新聞
菅笠作りの全工程を体験	R5.1.26	富山新聞
伏木曳山祭へ車輪新調	R5.2.6	富山新聞
日本遺産おいしく学ぶ	R5.2.14	北日本新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。今年度は、勝興寺が国宝に指定されたこともあり、市内外より高岡の歴史や文化への注目が多く集まったと考えられるので歴史的風致維持のより一層の向上に繋げていきたい。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

<p>評価対象年度</p>	<p>令和4年度</p>
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称: 第17回高岡市歴史まちづくり協議会</p>	
<p>会議等の開催日時: 令和5年2月15日(水)10時30分~11時40分</p>	
<p>○高岡市歴史まちづくり計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-2のp13「吉久地区道路修景整備事業」について、アスファルトのカラー舗装化は、歴史的背景をもとに整備する予定か。ただ使いやすい、明るい等のものではなく、重伝建にふさわしいものにし、良い景観が残るようにしていただきたい。 ・電柱をコンクリートから鉄柱に変えて色を付けるのが、よく使われる手法だが、この地域ではそれは可能か。 ・無電柱化には、いくつか方法があるが、地元への説明の仕方と、その結果カラー化を望むに至った経緯を教えてください。 ・無電柱化が出来れば良い景観になるだろう。地元の方に、無電柱化したイメージ像を見せる説明も必要ではないか。 <p>○高岡市歴史まちづくり計画の進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理・評価シート内の、「実施・検討にあたっての課題と対応方針」の欄について、アフターコロナを見据えた視点が薄いように感じる。具体的に記載すると良いと思う。 ・「実施・検討にあたっての課題と対応方針」の欄について、新型コロナウイルスの影響でイベント関係や施設の利用などについて数字が減っているのは仕方ない事だと思つたので、シートにその旨を記載すると良いだろう。 ・資料2のP6「菅笠保全対策事業」について、菅田の確保が難しいというのが大きな課題である。計画通り進捗しているとしているが、このペースで減少が進んで本当に大丈夫なのか。最低でも確保したいラインを見据えていく必要があるだろう。 ・現在生産していただいている方々が、ボランティアのような形で続けていくのは難しいので、支援をするなど、生産主として継続していただける仕組みを作っていく必要があるだろう。 ・福岡の菅は、全国の伝統行事で使われている。そのため、菅田の減少は、日本全国の伝統行事に絡んでくるだろう。菅田の生産農家が生活できるくらいの支援をしていく必要があると思う。 ・資料2のP15「金屋鋳物町交流館整備事業」について、使用実績が6件であるが、研修というのはどういう性質のものか。また、利用実績は単純計算で2カ月に1回程度となっており、多いとは言えない。利用促進等はどのように考えているのか。 ・この件についても、コロナ禍による利用制限の影響という内容を記載してもよいと思う。 ・資料2のP13「前田利長墓所整備事業」について、大名個人墓として全国でも最大級の規模の墓所として、武道館が移転することも踏まえ、本来の形として復元できると良いと思うが見解は。 ・資料2のP10「ものづくり・デザイン科推進事業」について、事業が始まった当初は、子ども達が実際に職人と関わるような機会をつくるのが出来ていたが、現在は十分に出来なくなっていると聞いている。今後もこの事業を継続していく中で、今一度、体制を見直す必要があると思うが見解は。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年は昭和から近代の建造物についても文化財としての価値を認める動きが全国的に広がっている。近代建築や昭和・戦後の建物、駅前のレトロな建物などを生かしていくことも歴史まちづくりの一つの項目としてあっても良いと思う。 ・昭和レトロという視点で言うと、七尾市の一本杉通りが良い例である。高岡は江戸時代に発展し、その後衰退と発展を繰り返し、昭和のオイルショック等も乗り越え今日に至っている。近世に出来た町であるが、そこから今日に至るまでの視点でまちづくりを進めていくと高岡市全体としての、品格が生きるように思う。 	
<p>今後の対応方針</p> <p>○高岡市歴史まちづくり計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、地元から吉久地区を歴史的な風情を感じられるような町並みにしたいと要望をいただいた。地元からの要望及びご意見を踏まえた形にしたいと考えている。また、地元からの要望では無電柱化は望んでおらず、電柱のカラー化を望んでいるため、要望に沿って進めていく予定である。 ・電力会社と協議を進めて、景観に配慮できるものになりたいと考えている。 ・地元には軒下配線・裏配線・地下埋設の3つの手法についてお伝えした。吉久地区については、家屋が連続していない箇所もあるため、軒下配線は難しい。裏配線は、住宅が密集しており電柱を立てるのが難しい。地下埋設については、道路が狭いことと、地上機器を置く場所が必要となり、その場所の確保が困難であることから、地元において無電柱化は難しいと判断され、電柱のカラー化を要望されることとなった。 ・ご意見を踏まえて、地元と協議する。 <p>○高岡市歴史まちづくり計画の進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理・評価シート内の、「実施・検討にあたっての課題と対応方針」の欄について、いただいたご意見を踏まえ、追記したい。 ・菅田の栽培面積については、右肩下がりである。菅の生産組合を設立や菅田作りの体験講座を開催しているが、難しい現状である。 ・農協等の関係機関と協力し、助成金・補助金などを活用し生産を継続できる仕組み作りをしていきたい。 ・菅田に対しての補助があるが、十分な金額ではない。生産効率のアップ等の栽培技術の確立も進めていく必要があると考えている。 ・施設の管理については、地元の金屋町の方に委託しており、利用については、地元の方や関係者、市関係の事業などで利用している。利用状況については、記載の通りであるが、今後、施設等の整備が進めば、さらに利用も増えると考えている。 ・進捗管理・評価シートについては、いただいたご意見を踏まえ、追記したい。 ・現時点の計画では、まずは現存部分の修繕を進めていく予定としている。本来の形としての復元については、将来的に施設の再編などのタイミングで検討していきたい。 ・ご指摘の通り、職人の高齢化等により、事業開始当初のような関わり方が出来なくなっている現状である。しかし、子ども達にとって、職人から直接教えてもらう機会は大変貴重なものであるため、これまでのやり方を続けていきたいという思いである。学校に来ていただく回数や工程等を見直し、今後ご指導いただけるよう、取り組んでいるところである。 <p>○その他</p> <p>事務局：現在、計画に記載のとおり近世・近代を対象にしており、現時点でそのような動きは無いが、今後検討していきたい。</p>	